

令和7年度中学部経営方針

1 学部教育目標

生徒一人一人の興味・関心や適性に応じた活動の中で、自分の気持ちや考えを豊かに表現する力やお互いを大切にする心を育て、よりよい社会参加への意欲を持った生徒を育成する。
(合言葉「～夢をもってチャレンジ!～」)

2 めざす児童生徒像

- 仲間との学校生活を楽しむ生徒
- 指導者の支援を受け、自分の思いや考えをまとめ、相手に分かるように伝えようとする生徒
- 人の気持ちを考えて発言したり行動したりする生徒
- 夢や希望を見つけ、努力する生徒

3 めざす学部像

- 生徒一人一人が安心して自分の思いや考えを表現できる学部
- 教職員一人一人が安心して自分の思いや考えを表現できる学部
- 家庭や地域の思いを受け止め、連携しながら、新たな取り組みにチャレンジしようとする学部

4 めざす学部教師像

- 生徒、保護者の思いに寄り添いながら、未来に向かって共に育ちあおうとする意欲を持った教師
- 生徒へのよりよい支援や学習に向けて、様々なアイデアを出し合える教師
- 前向きに学び、伝え合う教師

5 学部経営の重点

① 学ぶ意欲と自己肯定感を高める主体的・対話的な授業づくり

- ・生徒の教育的ニーズを的確に捉え、実態やねらいに即した授業になるよう、学部内やグループ内で生徒の様子について共有し、教育内容の見直しや工夫を行う。
- ・部門やグループを超えた生徒同士の関わりを積極的に模索し、設定する。

② お互い認め合い、高めあう教職員集団の実現

- ・日々の生徒に関する情報交換の際は、「生徒の成長を第一に考える」、「お互いの実践を尊重しあう」という視点を大切にする。
- ・生徒への指導・支援のアイデアを広げるために授業実践、教材、ICT機器の活用事例などを紹介あったり、教職員一人一人の専門性を発揮できるよう、研修で得た知識や経験をミニ研修という形で伝えあったりする。

③ 「チームくらよう」の推進

- ・家庭と連携を図るために、学部・学級だよりの発行、連絡帳や個人懇談等での情報共有を積極的に行う。
- ・学部でのケース検討会や生徒指導委員会、校内支援員会を活用して対応策を検討すると共に、対応について学部、全校でも共有できるようにする。

④ 安全で安心な学校の実現

- ・日ごろから生徒の体調や言動について細かく観察し、問題や事象が起こる前の情報共有や対応の検討などを迅速に行う。
- ・グループチーフを中心に報告・連絡・相談・確認体制を整理すると共に、情報共有ボードを活用し生徒に関する情報の共有に努める。